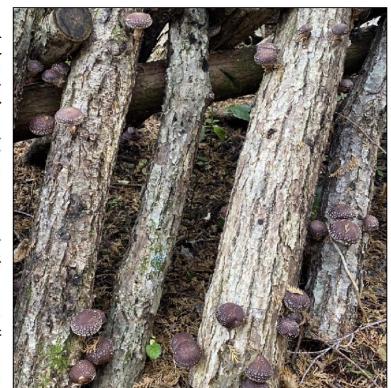


# 技を極める、あさげの門松

旦  
開  
新  
聞

- 【十一月の主要活動】
1. 稲作事業  
・秋起こし  
・畦畔の草刈り
  2. 園芸事業  
【出荷】秋野菜（小松菜・水菜  
からし菜・野沢菜・飯田かぶ  
チンゲン菜・ターサイ・里芋  
ロマネスク・椎茸・なめこ）  
【播種】ほうれん草  
【山菜】わらび畑の草刈り
  3. 蕁草事業  
・とうもろこし栽培  
・圃場の管理（耕耘）
  4. 加工事業  
・越冬対策  
・越冬対策
  5. 蕁細工事業  
・2年味噌、新味噌の包装／出荷
  6. その他  
・門松製作（こも、袴製作  
竹切・砂入れ）  
・しいたけ原木切り



## 椎茸栽培

原木栽培しただけの出番です。



今年の春、販売する野菜が少ない時期に、山菜のわらびが売上を上げてくれました。わらび畑の草刈りを、二日にかけて行いました。

地域共生推進室 発行  
【50号】  
2024年12月4日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどんどんお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！  
mail；  
ta-hara@koaglobal.com

## 山菜畠

今年の春、販売する野菜が少ない時期に、山菜のわらびが売上を上げてくれました。わらび畑の草刈りを、二日にかけて行いました。

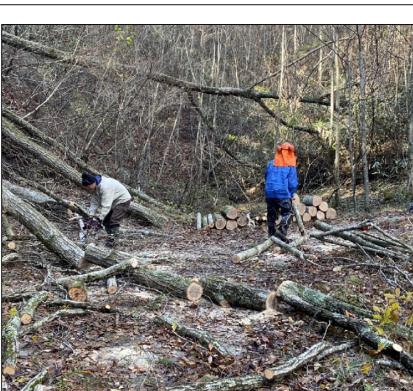


【竹の頭を斜めにカット】



【竹の切り出し】

門松の注文を地域や、飯田の企業様にご案内したところ、昨年より四箇所増えて、今年は三十九基製作します。上記写真のよつに、今年はこも締めの藁を黒に改善してみました。土台に締まりを感じます。



来年の植菌に向か、原木を切り倒し、来春まで山に寝かせます。今年は雪が無く助かりました。



植菌し仮伏せしていた原木を、山にひろげました。

十二月二週には、くわのみ農園のお米と、あさげの里のしめ飾りを持つて、名古屋で販売する予定です。



くわのみ農園は農薬も肥料も使わずに育てられた、幻の米「亀の尾」を栽培しています。その藁をあさげの里が購入し、伝統技術である、藁細工と水引細工によって、新年にふさわしいしめ飾りに仕上げました。

今年は双方の強味を融合した、しめ飾りを作成し、拡販する動きを取っています。

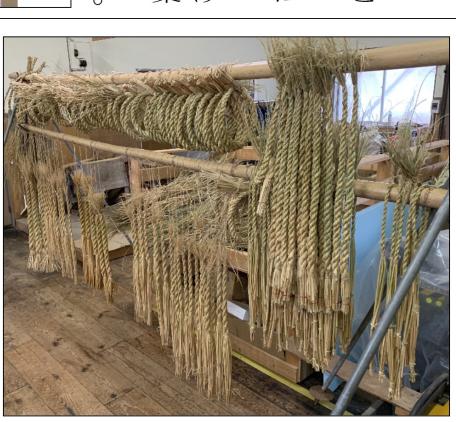


夏場、日よけに使用していた遮光ネットに加えて、マス目が細かいシートも使って二重掛けしました。これで霜が降りても安心です。



野沢菜、飯田かぶ菜を栽培しました。漬物用に必要な方は、地域共生推進室までご連絡をお願いします。

## ご連絡



六種類の正月飾りのサンプルを作成し、写真にてご依頼したところ多くの皆様よりご注文を頂きました。十二月二十日には、お手元にお届けします。ありがとうございました。



ハウス上の雨水排水の為、三基のハウスの周りを、バッケフローで側溝を掘りました。

## その他